

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス トレトレ		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高いスタッフが訪問支援に携わっていること	様々な事例検討会、講演会などに意識して参加し、またトレトレグループ主催の研修会、映画会、マルシェなどを開催していること	行政とタイアップしたり、他事業所と共催したりして、地域での福祉イベントや行事をつくり出していくこと
2	トレトレグループの児発、放デイ施設を利用している子どもを対象に保育所等訪問支援を実施していること	トレトレグループを利用している子どもたちの日ごろの活動に寄り添い、見守り、それをハグシステムによって保護者と共有したり、必要に応じて面談したりして、ひとりひとりの発達と成長に心を寄せていること	ごちゃまぜ運動会やボレボレマルシェなど、地域のボランティアの人たちと地域を活性化できるような取り組みをしていくこと
3	保護者に向けて様々な研修機会や子育てに関して話し合う機会を設けて、多くの保護者・関係者に活用してもらっていること	保護者の支えがあってこそそのトレトレグループの活動である。そのことをいつも意識して、保護者の方々に自分たちの活動を知らせ、ともに活動していく場をつくり出すこと	母親の参加しやすい場というだけでなく、父親も家族も、ともに参加できる、参加しやすい企画をしていくこと

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	次世代の担当者を育成していくこと	相手を尊重し、対等に関わり合う同僚性が大切である。日頃から、話しやすい雰囲気職場づくりを心がけているが、より一層安心安全な職場環境を構築していくことが必要であるということ	スタッフひとりひとりが考えていることを責任者がつかむようにしていくことと、人として尊重されていると感じられる環境をつくっていくこと
2	インクルーシブ教育、療育、教育、保育等の専門的な学びを深めていく機会を日常的につくっていくこと	日常の仕事に追われる感じになっていくと、あわただしさや多忙感が増す。ちょっとした隙間時間を利用して、スタッフ同士が学び合える時間と空間をつくり出すことを意識的に行うこと	日常の仕事に流されがちになるが、スタッフ全員がちよっと立ち止まり、その日に見つけた子どものよさやおもしろさをシェアする時間をつくっていくこと
3	様々な療育施設や福祉団体との交流を図り、それを進め深め、連携をしていくこと	現在、いくつかの福祉団体や放デイや自発施設と関わり合い、協働して事例検討会を実施したり、福祉団体が計画、運営するフェスティバルにトレトレグループとして参画している。これを広げていくこと	こうした交流は、まず出会いがなければ生まれない。自分の事業所に閉じこもらず、「発信なければ受信なし」の理念を持って、こちらから心を開いていく。変化することこそ自然であると考えて前向きに行動していくこと